

組みひも教室でちびっ子たちに夢を！

神奈川地方協力本部相模原地域事務所（所長 大塚3陸尉）は、7月6日（日）、相模原中央公民館祭りにブースを開設し、広報活動を行った。

このイベントは、地域の活性化及び交流を図るため毎年開かれているが、自衛隊は今回が初めての参加となった。

当日は、天候に恵まれ、子供用制服試着コーナー、組みひも・ロープワーク教室に、大勢の来場者が訪れた。中でも組みひも教室は好評で、3名の広報官が約60名のちびっ子の対応に追われた。ひもを手にした子供たちは「先生、ここからどうするの？」「家に帰ってからでも練習しよう」と大きな声を上げていた。

相模原地域事務所は、「今後も、各種イベントの場を活用した積極的な広報を行い、将来を担う子供たちに夢や希望を与えていく」としている。



大人気の組みひも教室



受験希望者が富士駐屯地開設60周年記念行事を見学

神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長 小谷2海尉）は、7月6日（日）、富士駐屯地開設60周年記念行事見学のため、受験希望者13名を引率した。

参加者は、記念行事を非常に楽しみにしていたようで「雨じゃなくて本当に良かった。」と天候に感謝し、記念式典では一糸乱れぬ隊員の動作にため息を洩らし、模擬戦闘訓練では火砲、戦車の空砲射撃に興奮していた。また、ある広報官は、厚木募集案内所から2年前に入隊し、遅く成長した隊員とうれしい再会果たした。

募集案内所としては、受験希望者が自衛隊の記念行事を見学して喜ぶ姿や逞しく成長した隊員の姿に接し、心から募集に携わってきて良かったと思える一日となった。厚木募集案内所は「今後も、様々なイベントを通じ、自衛隊に対する理解を深めてもらい、募集成果に繋げていきたい」としている。

自衛官募集相談員と募集活動

神奈川地方協力本部横浜中央募集案内所（所長 竹崎1陸尉）は、7月8日（火）、横浜市旭区にある相鉄線二俣川駅前において募集活動を実施した。

二俣川駅は、旭区内で一番利用者が多く、高校生等も数多く利用している。募集相談員会会長をはじめ3名の方々が応援に駆けつけ、自衛隊をPRしようと多くの駅利用者パンフレットやグッズ等を配布した。広報官は、相談員と連携を図りつつ、制度説明やアンケートを実施した。横浜中央募集案内所は「募集相談員と連携しつつ、集客力のある地域施設を利用して効果的に自衛隊をPRしていきたい」としている。



募集相談員と広報官



高校生にパンフレットを配布する募集相談員会長（右）